

離岸流 (リップカレント)

沖へ流れるこわーい潮の流れ

<離岸流とは>

海には、離岸流とよばれる沖へ向かう水の流れができることがあります。この流れに乗ってしまうと、どんどん沖へ流されてしまいます。

海水浴場でおぼれる人は、この離岸流に流され、岸に戻ろうと泳いでいるうちに泳ぎ疲れてしまうことが多いようです。遊泳の際は、離岸流に注意して泳ぎましょう。

<離岸流の見分け方>

- ・流れによって海底の砂が巻き上げられ、周囲の色と異なり濁って見えるところ。
- ・ビーチボールや浮き輪等の浮遊物が、沖へ流れているところ。
- ・波の白い泡やゴミが集まって沖へ向かって流れているところ。
- ・波の崩れる位置が周囲と異なり、波がなかなか崩れにくいところ。
- ・岩場や突堤のある付近も複雑な流れがあり、沖へ流されることもあるので注意が必要です。



<離岸流から脱出するには>

1. パニックを起こすな!

離岸流は速いもので秒速2m (水泳のトップ選手の泳ぐ速さと同じくらい) ほどになりますが、ある程度沖まで流されれば流れは弱まります。落ち着いて次の行動を考えましょう。

2. 流れから逃げる!

泳ぎに自信がある人は、岸に向かって45度の角度で泳ぎます。
流れが強い場合や泳ぎに自信がない人は、いったん横に20~30m泳いでから岸に向かうか、沖の流れがなくなるところまで流されてから横に泳いで岸に戻りましょう。

※自力で戻れない場合は、「助けてサイン」を出す。

※自力で戻れないほど流された場合は、体力の余裕を見て早めにライフセーバーに助けを求めましょう。